

アラ環女子中国へ。 その三



いもねえさん

日本のパスポートは最強！

夜のホテルで、息子が「日本のパスポートは最強」ってあるよ、とパソコンを見せてくれた。

普段は何とも思わず生活しているものの、日本人ってそんなに信用されてるのかー日本のパスポートを持っているとそれだけでかなりの信用度があるという。偽造されにくい高度なパスポートでもある。

パスポートを取得するには事務手続きだけだったような気がするんだけど。。。大変だったことはない。

たしかにパスポートをとるのに時間がとてもかかる国があると聞く。なかなか取れないんだと。

さらに、世界のどの国への訪問も可能なのは日本のパスポートぐらいだと。えー、そうだったんだ、知らなかったー。

日本の先人たちが信用を築きあげてくれたんだな。

広州からマカオへの入国の際に、隣の列はちっとも進まなかった。よかったねえー、こっちで。隣は進まないねー。

どこの国の青年だろ、長く長く時間がかかり、保安の人を呼んで、さらに話を聞いていた。青年の膝は震えていた。

こういうこと実際にあるんだねー。こちらまで気持ちがひきしまったけどね。

足場は竹！

広州東の駅から動物園までは歩いて行けそう、、、と歩き出した。
表側とうってかわって庶民的というか、実はそのもの、というか、、、

あの建築中の建物、足場は竹だよ。
ほんとだ竹が足場なんだ一。
でも建築中なのか、解体中なのかどっちなんだろうね。

こういう場面はいっぱいあった。
足場は竹。建築中なのかどうか工事がストップしている。
足場は鉄骨じゃない？普通は。うん、そうだね。

でも、足場に竹を使っている所は多かった。
けっこう高い建物でもつなぎ合わせて。
竹はまっすぐでないものもあるし、先は細いし、そりかえってもいるし、、、。
斜めにも使っている。

建築中であろうが現場はムキ出しのままだ。
息子が言った。この竹の厚さ2センチ以上あるよ、ハンパじゃないわ。



だんだんとわかってきた。
香港の商店街の工事でも足場は竹！
足場の上の方から、結ぶビニールひもが時々降ってくるものの、皆あんまり気にしていない様子。
。。
大らかというか。。。



A Member of
Perfect Life
優越醫療
www.perfectlifeasia.com.hk

黃國川醫生 楊志峰醫生
● 專業醫學意見 ● 正版藥物疫苗
● 私家醫院安排 ● 醫學皮膚治療

黃國川醫生
Dr. Jonathan Wong
楊志峰醫生
Dr. Michael Young
www.perfectlifeasia.com

優越醫療
莊 醫務所
Medical Centre

名醫診所
名醫診所
名醫診所
孫家強
雲 剪髮 洗髮 吹髮

東方晒圖影印
102 1/F

椰林閣
全運來賓館

3110 066 李曉
租
售
4481814



さすがバンブーの国！

カゴやら椅子やらバンブーが多い。バンブーを見直したよ。

いろんな種類があるんだろうね。

華南植物公園では黄金の竹を見たしね。



鉄骨の必要はないんだ。「足場は鉄骨」なんて私の頭が固すぎたね。
地球にやさしいし。

組み立てる所や解体する所をじっくりと見てみたいな。

レンガを積んで家をつくる。

チワン族自治区でのこと。建築中の家の前に、ドサッと茶色のレンガが山になっている。どうやら、トラック1台、いくらというものらしい。

何人かでそのレンガをセメントのようなもので固めながら積みあげている。
ブーフーウーの3匹の子豚の末の弟の家だー

四川大地震では、このような家が崩れたので間に鉄骨の棒を埋め込むようにするらしいが・・・
そんな雰囲気はなかったなあ。

家族というか一族で作っている、という感じだった。

興味津々の息子はレンガを手にとって、うん、レンガだよな、と。

で、レンガを積み終えたら、最後に外側からセメントで塗っていた。塗らない家もある、予算の関係か。

まあ、亜熱帯の地域というし平屋ならそれでもいいのかも。

地道な作業だ。

信号は無視、どこでも横断

桂林というところは、ほんとうにクラクションがよく鳴っていた。

それもそのはず。

人はどこでも横断する。

車がきても横断する。

信号はあんまりないけれど、ほとんど無視。

真面目に信号を待っていると、ヘンな顔をされて横を通る人々。

だんだんと私たちもわかってきて、横断する一群について道路を渡ることを試みる。

よくあれで事故が起きないよなあ。。。

車はけっこうなスピードなのに。

ただ自分達だけの横断はさすがにしなかった。

横断しそうな人がいたらその人たちについて横断するのだ。

それにしても右も左も車も見ず、意の向くままに。。。

どうなってるんだらうね。

クラクションはずっと鳴りっぱなしだ。

これから秩序ができていくのかしら。

finished !

かんたんな言葉だなあ。

離江（りこう）下りの船は昼食バイキングつきであった。

中国人の観光客が9割に対して外国人は1割とのことで、私たちは外国人の船室だった。席はは決まっていた。

向かいの外国人、どこの国か、言葉もわからず見当もつかない。

でもバイキングの食事、いっぱい盛っていた。

私たちは食べられる量だけ盛った、それは当然だと思うのだ。

そしてきれいに残さず食べた。なかなかおいしかった。

さらにお盆も片付けた。

私は別の器にデザートをもってきた。

向かいの人はものすごい食べ残し。残し方も汚い。そのままテーブルの上。

時間がたち、片付ける係りの人が聞いた。

そしたら、「finished !」の一言で終わり。

なんだかなあ。。。。

どうも、感覚がちがうのかなあ。。。

あれだけ食べ残して、「finished !」とは。

なんかイヤだねえ。

活絡油、大活躍

活絡油、最初に広州で買って置いて本当に良かった。
足の捻挫で1ビンは使ってしまったけれど、
家に帰ってからもつけまくりだ。

成分を見てもほとんどわからないのだけれど
薬局の人のゼスチャーによるとだいたいわかった。
頭が痛い時には、コメカミに少し塗るのね、目に入らないようにして。

何にでも効くというのはあやしい感じもかつてはしていたけれど
今は中国の歴史からして、何にでも効き、今も中国の人が愛用しているものが自然のような気がするのだ。
だから、外国人があんなにタイガーバームを大量に買うんだー。

今私は何にでも活絡油だ。
サプリメントの類はいっさいのまない。
肩をまわしてゴキゴキいっても活絡油でスッキリ！

竹のイカダに乗る

桂林でり（サンズイに離）江下りをして陽朔へ。

陽朔をみた後は、又日本語ガイドつきでマイクロバスに乗った。

着いた所は遇流河。

り江最大の支流。

ほとんど映画のロケ地ではないかと思われるようなさらなる異国だった。

し〜ん。。。。

でも人はいた。

ヤンさんが言うには、若者というか働き手はこの町にはいない、いたとしたら、怠け者と思われる人です。

みんな出稼ぎに都会に出ています、と。

静かに自給生活をしているようだ。

みかんの皮も大切に干して、何かに使うんだろうな一

家は土間みただけけれど、昔の商店街だそうだ。





竹でできた二人乗りのイカダに乗った。

村のお年寄りが竹でイカダを操る。

安全チョッキのような物をつけて下さい、とヤンさんが言うので私達2人は当然のように着用した

。

が、、、少ししてまわりを見たら着けているのは私達だけだった！

まあ、底は透き通って見えるし、水深1メートルあるかないかぐらい。

イカダの竹は半分沈んでいるので椅子に座る。

のんびり、のんびり、船頭さんのだれかが歌いだす。

のどかだねー

途中で降りて、水牛と遊んだりゆっくりもったりの時間を過ごした。そこに暮らす人々の流れのように。



その川で大根を洗っていたから、きっと洗濯もそこでやるんだろうなあ。。。
春節には、みんな帰ってきますよ、まさに民族大移動です。
爆竹を鳴らします、鬼は外という意味ですね。

この村はこのまもらしい。
出稼ぎに行き、年をとったら村に戻ってきて生活をする、その繰り返し。

桂林はノーヘル、バイクには何人乗ってもいいのかな？

桂林はやたらとバイクが多かった。

しかも静か。あれ電気自転車じゃない？専用道路がついている所もある。

だけれどだ。

桂林に着いた日は小雨。スクーター全部をすっぽり覆うようなカッパで走ってる。

スクーターは生活の足だろうから、雨の日でも何のその、傘をさすようにカッパを着るんだね。



ヘルメットはかぶらなくていいんだろうな。ノーヘルがほとんど。

乗車の人数制限もないみたい。

荷物もいっぱい乗せて、横からはみ出して。

まあ、私もかつては自転車4人乗りで保育園へ送ったことがあるしなー。

ツアーってどうよ

息子との旅行は自由旅行。

ということは人まかせにできないからそれなりに緊張する。（息子が）

いいところはいっぱい。

体調にあわせて行動できるし、時間を気にしなくていい。

値段の高い所に連れて行かれなくてすむ。

知人が言っていた。

夕食なんて15000円もしたのよ！日本だってそれだけ出したらおいしいもの食べられるよねえ。

私たちは現地の人の食べるものを食べたから、桂林ではビーフン30円、ま、それなりのものだけど。

り江下りではツアーに参加したが、何ともまあ、みなさん時間にルーズなこと。

集合時間にいたのは私たち2人だけ。

係りの方は、ペーパー片手に探し回って気の毒だけれど、私たちの時間はどうしてくれる。

「まだおそろいでないようなので、お店でお茶でも飲んでいて下さい。」と申し訳なさそうなヤンさん。

30分も待った。

ツアーってだからイヤなんだよなーと息子。

見たい所はさっさと時間ですと言われ、見たくないところも連れ回される。

しかも、外国人向けのいいところばかり。

おみやげ屋さんにも連れて行かれ、お茶を入れてくれて、、、居心地悪い。値段は高価だし。

どうも苦手だ。

人数は多いほど自由な時間がないね。待ってばかり。そして疲れる。

息子のアイホンの中には飛行機のチケットやらホテルの予約やらが入っていて、それを見せていた。

ふーん。いったいどうなってるんだろ。

完熟みかん、おいしー

桂林のホテルで歓迎フルーツを持ってきてくれた。

なんとも傷の多い、手をつける気にならない小ぶりのオレンジだった。

見てくれは、悪くて、日本だと訳アリコーナー行きか、市場に出てこない。

でも食べてみよう。

爪を立ててむいて口に入れた。

何ておいしいんだろう。

ねえ、おいしいよ、食べてみて！

うん、おいしいおいしい。

これ完熟なんだろうね、皮もすごく薄い。ジューシー。濃厚。

こんなオレンジだったら買いたいねー。

結局買いそびれて、マカオの高層住宅街の八百屋のような店で、

あの完熟みかんだと疑いもせず買った。

ホテルにもどって見たら、サンキスト！USAのシール。。。

なんでー？

あのリヤカーで売ってるの買えば良かったね。

みかんの畑の道路脇でいっぱい売ってたねー、買えばよかったー。

あのみかんのようなオレンジは本当においしかった。

ウォッシュレット

今回、どのホテルもウォッシュレットはなかった。
広州空港ホテルには期待したけれど、ウォッシュレットじゃなかった。

もうウォッシュレットの快適さに慣れてしまったんだなあ。。。
東横インも、帰りに泊まった阪急アワーズもウォッシュレットだった。

それよりもなによりも、トイレってどっち向いてしゃがむの？
壁に向かうんじゃないの？
それにしても足場の位置がヘン。

公園のトイレ、立つと頭が見えるトイレだった。
何と、こちらを向いている。
そうかー、壁を背にするのかー。

しかし落ち着かないトイレだ。
トイレットペーパーもないし。

後で知った。
携帯ウォッシュレットというのがあるんだね、旅行用の。
ペットボトルを持つ感覚で。これいいかも、というか必需品だな、海外には。

いろんな乗り物

ブツと吹き出しそうなのは、香港から広州へ行く列車だ。

息子が、次の次の列車だと日本製だからいいと思うけれど、こっちの方が先に出るからこれにしよう、と。

うん、これでいいよ。

足の腫れを少なくするために靴をぬいでスーツケースの上に足を乗せるのに十分な広さだった。

クッションもまあまあ。

ところが、、、最高におかしかったのは、進行方向に、全員逆向きの座席なのだ。

こんなのあり〜？

次の日本製の列車だったら進行方向に向きが変えられたかもね。

ペットボトルの水が配られた。一等だから？

隣にいた中国人は、座席に座らず、知人の座席の肘掛けに座ってずっとしゃべっている。

まるで修学旅行だ。ほとんどしゃべりっぱなし。。。指定席なんだけどね。

しかも大声で。

よくしゃべるねー。うん。テンションが高いのか、列車が嬉しいのか、それが普通なのか、、、

停車駅は少なかったけれど、それでも香港からの入国ということで、駅には鉄条網が張り巡らされていた。

日本は島国だから出国という場所は港か空港になるわけだけど、

地続きの異国というのは、こんなものなの？

鉄条網、、、そうだこれ見たことある。牛の放牧の周辺だ！

マカオから香港へ渡る高速船。この気持ちの悪さ、出発して5分で2人して船酔い気味。



ダメだ、酔い止め飲もう。2人して飲んだ。

波もないのに、飛ぶようにフワリフワリ、船独特の臭いもエンジン音もないのに。

マカオから香港への高速船に乗る時は酔い止めが必要ですね。

あー気持ち悪かったねー。

着いた香港はいきなり都会のビルの中。

アンバランスに感じなくもない風景

日本のように狭い国でも都市と地方、そして離島では生活は大きく違う。
だから中国なんて、とてつもなく広大なところでは、国自体が異国の集合なんだろうなあ。。。

香港、マカオは別としても。

広州の市街地を見ると東京などの都市とまったく同じに見えるし、裏の商店街はそれなりに生活感がある。

が、その格差たるや信じられない風景をいくつも見た。

大きな道路に大きな車が走る。

それといっしょに大きな荷物を積んだリヤカーも走る。

これが普通のようにリヤカーの軍団にクラクションを鳴らす訳でもない。









広州の沙面という地域。

ここはアヘン戦争の結果、イギリス、フランスの租界となった地域である。

領事館など西洋風の建物ばかり。。重みもあるし立派。

この時代日本は、、、江戸時代、チョンマゲ、黒船もまだ？

歴史の好きな息子と私の頭の中は、はせる思いに大きな違いがあるんだろうなあ。。。

沙面地域の洋館は別世界だ。

ウエディングドレスの撮影をいたるところでやっていた。

沙面地域にはいたるところに、銅像というか、何というか置いてあって、街にとけこんでいて楽しかった。





公共安全
视频监控区域
VIDEO

请勿携
犬进园区
No pet in the garden

3号

mayile
我 17日







もっともっとあったけれど、何と言っても中国が生んだバグがしっかり英雄になって銅像になっていたのには笑ってしまった。娘の家にいるのといっしょだあ。